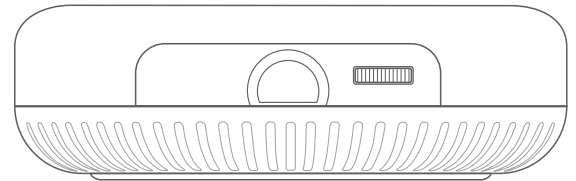


adget

Adget Pocket Projector




User Manual

目次

安全にご使用いただくために	01
梱包品の確認	03
プロジェクターの紹介	03
プロジェクター	03
リモコン	05
充電	05
トラブルシューティングガイド	06
セットアップ	07
1. 使用前の準備	07
2. 電源ON/OFF	09
3. 初期設定	09
4. フォーカス	09
5. キーストーン補正	10
6. Wi-Fi接続	10
7. マルチメディア接続	11
8. ワイヤレス接続によるスクリーンミラーリング	14
9. アプリ	20
10. Bluetoothデバイスの接続	21
11. 設定	22
Bluetoothスピーカーモード	23
仕様	25

安全にご使用いただくために

 **注意:**ご使用前に必ず説明書をご確認いただき正しく製品をご使用ください。
誤った方法で使用するとケガや製品故障の原因となりますのでご注意ください。

セットアップ

- ・電源ケーブル、コンセント、接続ケーブルは正しく接続してください。
- ・故障、事故の原因となる恐れがあるため、本製品に付属されている電源ケーブルをご使用ください。
- ・電源ケーブルを接続するときは本製品が落下や倒れたりしないようしっかりと持ち接続してください。
- ・電源ケーブルを接続したまま本体カバーを回さないください。
- ・各ケーブルが曲がったまま、使用しないでください。断線や感電、出火の原因となります。
- ・電源起動中はレンズを覗かないでください。ケガをする恐れがございます。
- ・誤ってレンズ覗き込んだ場合はすぐに視線をそらし、異常がある場合は医師にご相談ください。
- ・本製品を出火しやすいものに向けて投影しないでください。
- ・鏡など光を反射するものに向けて投影をしないでください。
- ・本製品の吸気口、排気口は塞がないように設置してください。熱がこもり故障の原因となります。
- ・通気性の悪い場所、高温、低温環境でのご使用はお控えください。
- ・本製品を暖房機器や火気に近づけないでください。
- ・不安定な場所に設置しないでください。
- ・本製品は防水ではありません。水気の多い場所、ホコリや粉塵が多い場所でのご使用はお控えください。
- ・濡れた手や濡れた状態で本製品をご使用しないでください。感電や漏電の原因となります。
- ・本製品を濡らした場合はすぐに電源を切り電源ケーブルを抜いてください。タオルなどで水気を拭き取り通気性の良い場所で乾燥させてご使用はお控えください。その後、カスタマーセンターにご相談ください。
- ・電子レンジ、電磁調理器の近くに置かないでください。誤って加熱され、発熱、破裂、発火の原因になります。
- ・過度な長時間のご使用はお控えください。本体が高温になっている場合は電源を切り、電源ケーブルを抜いてください。本体の温度が下がったことを確認してからご使用ください。
- ・本製品の上に物を置いたり、踏みつけるなどの過剰な加圧、落下させないでください。
- ・本製品を分解、改造はしないでください。分解、改造に伴い発生した故障や事故、ケガについて弊社では一切の責任を負いかねます。
- ・製品を振ったり、激しい振動が発生する場所で使用しないでください。
- ・小さいお子様の手の届く範囲に設置しないでください。
- ・ペットなどの動物が本製品を倒したり、噛んだりしないようご注意ください。

三脚

- ・三脚を使用するときは固定位置が決まったらネジをしっかり締めてご使用ください。
- ・固定ネジが緩いと本体が支えられず転倒や落下の原因になりますのでご注意ください。
- ・三脚の足の開きが不十分な場合、振動や揺れで転倒する恐れがございます。しっかりと安定するまで三脚の足を開きご使用ください。
- ・本体の向きを変えるときは三脚の固定ネジを緩め転倒しないようにしっかりと支えて向きを変えてください。
- ・三脚の固定位置は必ず本体底部にある三脚磁気エリアで固定してください。
- ・製品本体と三脚の間に物がはさまれないようにご注意ください。
- ・付属三脚以外をご使用する場合はネジ穴に三脚をしっかりと固定されたことを確認してからご使用ください。

電池・バッテリー

- ・本製品はバッテリーが内蔵されております。製品を長期間ご使用いただかない場合でも1~2ヶ月に一度は充電をしてください。長期保管をおこなうとバッテリー過放電の原因となりますのでご注意ください。
- ・お客様自身でバッテリーを取り出したり交換しないでください。
- ・バッテリーは高温になると爆発、液漏れする恐れがございます。高温環境、直射日光、火気の近くではご使用しないでください。
- ・本製品を廃棄する場合は絶対に焼却処分をしないでください。
- ・リモコンには別途単4電池2本が必要です。規格外の電池は使用しないでください。
- ・小さいお子様やペットがリモコンや電池を誤って飲み込まないよう、安全な場所で保管してください。

メンテナンス

- ・清掃時は電源ケーブルを抜き、電源を切ってからおこなってください。
- ・清掃時はホコリの出ない柔らかい布をご使用ください。
- ・本製品の清掃をする際に薬品は使用しないでください。塗装剥がれや思わぬ事故を招く恐れがございます。
- ・レンズが汚れている場合はホコリの出ない柔らかい布でやさしく拭いてください。力を入れると傷の原因になる恐れがあります。クリーニング用の洗浄液についてもご使用はお控えください。

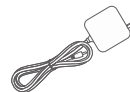
修理

- ・本製品をお客様で修理しないでください。故障した際はカスタマーセンターにお問い合わせください。
- ・故障や不具合を感じた場合はコンセントを抜き、カスタマーセンターにお問い合わせください。
- ・ご自身で修理をおこない発生した事故、故障については一切の責任を負いかねます。
- ・記載内容に従わずに発生した事故、ケガ、破損、データ損失は保証対象外となり一切の責任を負いかねます。
- ・本書に記載されていない場合であっても一般的なご使用を逸脱した異常な条件下で使用した際に発生した事故や破損、損害に関して一切の責任を負いかねます。
- ・本書の内容、製品仕様、外観等は予告なく変更する場合がございます。

梱包品の確認



プロジェクター x1



電源コード x1



リモコン x1



360度回転式三脚 x1

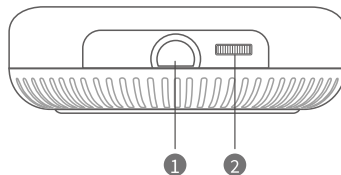


マニュアル/保証書

プロジェクターの紹介

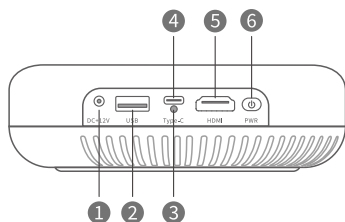
プロジェクター

正面図



- ① 投影レンズ
- ② フォーカスリング

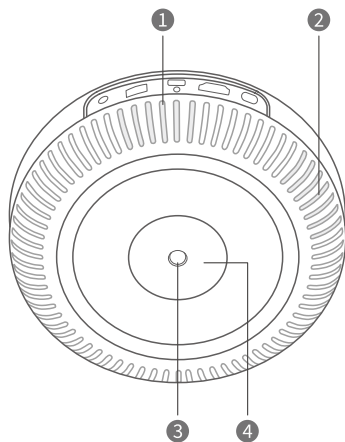
背面図



- ① DC接続口
- ② USB Type-Aポート
- ③ 赤外線受信機
- ④ Type-Cポート
- ⑤ HDMI接続口
- ⑥ 電源ボタン

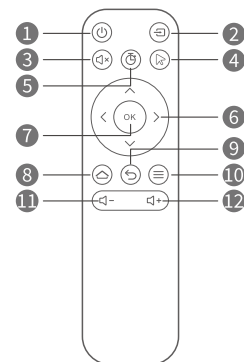
* プロジェクターが電源に接続している時はType-Cポートからスマホを充電することが出来ます。

底部図



- ① 吸気口
- ② 排気口
- ③ ネジ穴(1/4インチ)
- ④ 三脚磁気エリア

リモコン

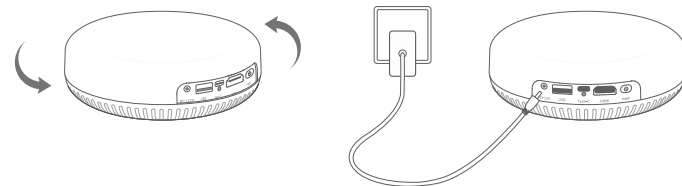


- ① 電源
- ② インジケータライト入力切替
- ③ ミュート
- ④ マウスカーソルON/OFF(Bluetooth接続中)
- ⑤ 自動電源OFFタイマー
- ⑥ 上/下/左(長押しして早戻し) / 右(長押しして早送り)
- ⑦ OK(決定、再生・停止)
- ⑧ ホーム
- ⑨ 戻る
- ⑩ メニュー
- ⑪ 音量を下げる
- ⑫ 音量を上げる

充電

プロジェクターにはリチウムイオン電池が内蔵されており、運送中に電力減っている場合がございます。初めて使用するときは、プロジェクターを電源に接続いただき充電してください。

カバーを回転させてから、付属の電源アダプターを使ってプロジェクターを充電してください。フル充電には約4時間かかります。



指示灯ガイド ①

プロジェクター	インジケータライトステータス
充電中	プロジェクターがコンテンツを投影しているときは、ライトが消えます。 プロジェクターの電源がオフの場合、インジケータライトは赤く点灯します。
充電100%	ライトが消えます。
バッテリー残量 20%以下	プロジェクターがコンテンツを投影しているとき、 インジケータライトが赤く点滅します

ヒント：
充電中にプロジェクターがBluetoothスピーカーモードに入った場合、このガイドは適用されません。

トラブルシューティングガイド

1. Amazonプライムビデオ/Netflixなど一部のアプリを本製品でミラーリングまたは再生することはできませんか。
*著作権の問題により、一部のアプリ画面はミラーリングまたは再生することができません。
2. プロジェクターを通してAmazonプライムビデオ/Netflixまたは同様のアプリを見たい場合はどうしたらいいですか？
*これらのアプリをプロジェクター内の「アプリマーケット」からプロジェクターにインストールして、著作権で保護されたコンテンツを再生することができます。
またはストリーミングデバイスをご使用ください。
3. このプロジェクターでストリーミングデバイスを接続して使用できますか？
*はい、できます。音声が出力されない場合はストリームデバイスの「設定」>「音声出力」でPCMに切り替えてお試しください。

4. プロジェクターはオートフォーカスできますか？
*オートフォーカス機能はありません。プロジェクターのフォーカスリングを回して調整してください。

5. 明るい部屋でプロジェクターを使用できますか？
*暗い環境での使用をお勧めします。

6. 開封後にプロジェクターが正しく起動しない場合はどうすればよいですか？
*初めて使用するときは、プロジェクターを充電するか、電源に接続することをお勧めします。それでも解決できない場合は、お気軽に info@adget.tokyoまでご連絡ください。

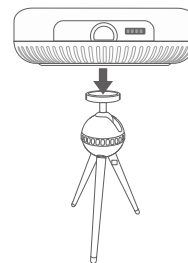
セットアップ

1. 使用前の準備

三脚の取り付け

360度回転式三脚

三脚の足を開き安定した状態で設置します。
付属の三脚は、プロジェクターの底部にある磁気エリアに取り付けが可能です。
固定ネジを緩めて本体の位置を決めてください。固定位置が決まったらネジを締めて固定してご使用ください。

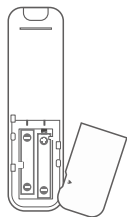


別売り三脚の取り付け

プロジェクター下部のネジ穴(1/4インチ)に別売りの三脚を取り付けることもできます。
三脚のネジは最後まで締めてご使用ください。

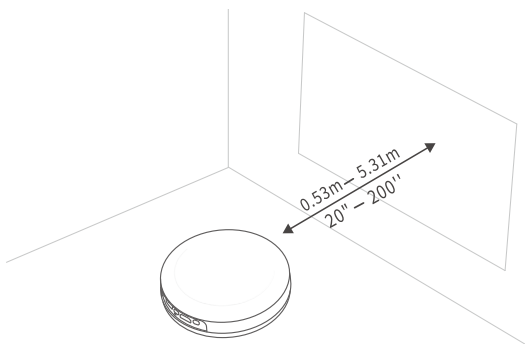
リモコン

リモコンに2本単4電池を入れてください。入れる向きにご確認ください。
本体背面の赤外線受信機に向けて操作することで使用できます。
セットアップ完了後に21ページの手順でBluetooth接続が可能です。



配置

三脚の有無にかかわらず、プロジェクターを安定した平らな面においてください。きれいな映像を投影するには、投影面を白く平らにする必要があります。



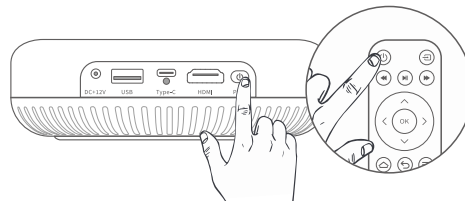
ヒント:

「ホーム」> 「設定」> 「画面」> 「投写モード」から、投影向きの変更が行えます。


2. 電源ON/OFF

ステップ 1:

カバーを回した後、プロジェクターまたはリモコンの電源ボタンを押して電源を入れます。



ヒント:

- ① 電源を切るときは、プロジェクターの電源ボタンを長押しするか、リモコンの電源ボタンを2回押して電源を切ります。
- ②  本体電源ボタンのインジケータライトステータス

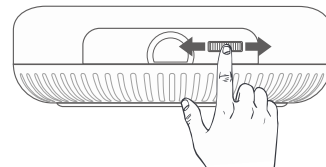
オレンジ点灯	起動中
オフ	起動後

3. 初期設定

プロジェクターの電源を入れた後、セットアップ手順に従ってプロジェクターをセットアップしてください。

4. フォーカス

きれいな映像を投影するには、プロジェクターのフォーカスリングでピントを調整します。

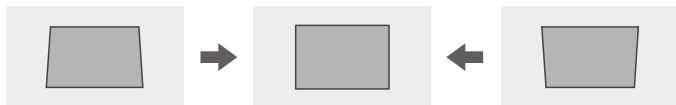


注意：
投影レンズを直接見ないでください。

5. キーストーン補正

本製品は、垂直40度以内の自動キーストーン補正と手動4コーナーキーストーン補正をサポートしています。

- ① プロジェクターの電源を起動すると、垂直自動キーストーン補正が実行されます。
「ホーム」>「設定」>「画面」>「自動補正」から自動補正の切り替えができます。



- ② 「ホーム」>「設定」>「画面」>「手動台形補正」から、画像の台形補正します。



「上下左右」ボタンで補正する箇所を選択して「OK」ボタンを押します。
「上下左右」ボタンで画像を調整します。
「戻る」ボタンを押して、補正箇所の選択を解除します。

「メニュー」ボタンを押すと台形補正がリセットされます。

6. Wi-Fi接続

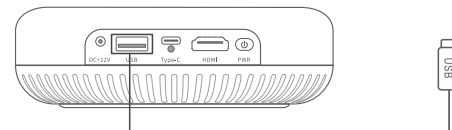
「ホーム」>「Wi-Fi」を選択して、プロジェクターを利用可能なWi-Fiに接続します。



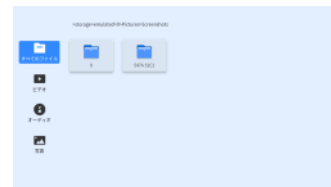
7. マルチメディア接続

USBデバイスの接続

ステップ1：
USBディスクをプロジェクターのUSBポートに挿入します。



ステップ2：
「ホーム」>「ファイル」を開き、ディスクを選択して、再生するファイルを開きます。



* サポートされているファイル形式

写真フォーマット	JPG/PNG/GIF
オーディオフォーマット	MP3
ビデオフォーマット	TS/AVI/MP4/MOV/FLV/M4V/RM/RMVB/MKV

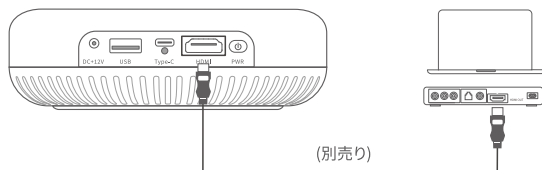
ヒント:

- ① テキストファイルを再生する場合は18ページ「アプリ」のページを参照してください。サードパーティのアプリをダウンロードして再生します。
- ② FAT32形式のUSBディスク（最大容量128G対応）を使用すること勧めます。

HDMIデバイスの接続

ステップ 1:

HDMIケーブルを介してプロジェクターをデバイスに接続します。



ステップ 2:

「ホーム」>「HDMI」に移動し、入力ソースとして「HDMI」を選択すると、デバイスのコンテンツが投影されます。



ヒント:

Windows 7以上の場合、WindowsLogo+ Pショートカットを押して、次の4つの表示モードにアクセスします。

- ① PC画面のみ：投影はされずPC画面のみが表示されます。
- ② 複製：PC画面のコンテンツと同じコンテンツを投影画面に表示します。
- ③ 拡張：PCの画面とプロジェクターの画面を別々に表示します。

- ④ セカンドスクリーンのみ：プロジェクターにPC画面のコンテンツが表示されが投影されPC画面はOFFになります。

HDMI接続時はホーム画面で設定した画像モードは適用されません。変更する場合はHDMI出力している状態でリモコンのメニューボタンを押して画像モードから変更してください。

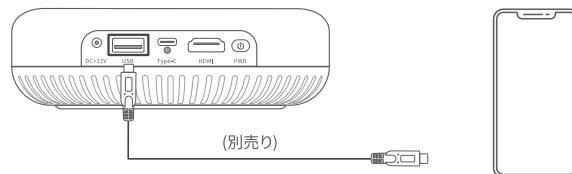
また、「設定」>「HDMI」からクイック投影をオンにすると、ケーブルを差した際に自動で画面がHDMI入力に切り替わります。

iOSデバイスの接続

USB-Aポートでの接続

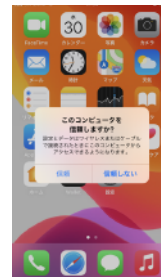
ステップ 1:

USBケーブル (iPhoneの場合はUSB-A⇄Lightning / iPadの場合はUSB-A⇄Type-C) を介してプロジェクターをデバイスに接続します。



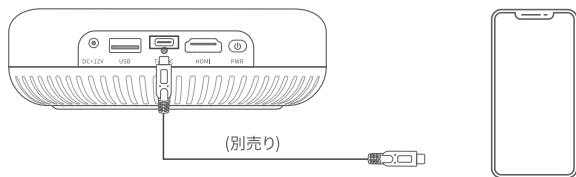
ステップ 2:

デバイスに「このコンピュータを信頼しますか?」と表示されますので、「信頼」を選択します。この操作は初回の接続時のみ必要となり、2回目以降は不要です。デバイスのコンテンツがプロジェクター画面に投影されます。



Type-Cポートでの接続

ステップ 1：
Type-Cケーブル (iPhoneの場合はType-C⇔Lightning / iPadの場合はType-C⇔Type-C) を介して、プロジェクターをデバイスに接続します。



ステップ 2：
USB-Aポートでの接続のステップ 2 を既に行っている場合は画面が自動で切り替わり、デバイスのコンテンツがプロジェクター画面に投影されます。

ヒント：
USB-AケーブルやType-Cケーブルは、それぞれデータ転送に対応している規格である必要があります。
Android端末を接続する場合は、HDMI⇔Type-Cケーブルを使用してください。

Netflix/Youtubeコンテンツを再生する場合

プロジェクターにNetflix/Youtubeなどの各アプリケーションをインストールして再生します。アプリケーションのインストール方法は18ページの「アプリ」をご確認ください。

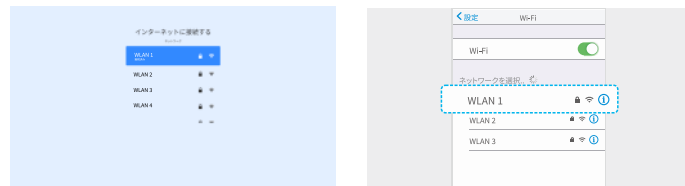
注意：
Netflix/Youtubeは、それぞれの所有者に帰属します。

8. ワイヤレス接続による画面ミラーリング

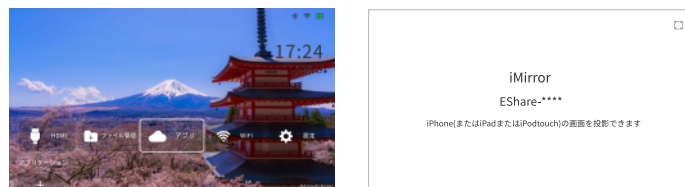
ヒント：
著作権の制限により、一部のコンテンツ、アプリケーションはワイヤレス画面ミラーリングを介してミラーリングできません。
「アプリマーケット」内で同じアプリケーションをインストールできる場合はプロジェクターにインストールすることでコンテンツを再生できます。

① iMirror (iOSのみ)

ステップ 1：
プロジェクターとiOSデバイスを同じWi-Fiに接続します。



ステップ 2：
「ホーム」 > 「アプリ」 > 「iMirror」を開きます。
初めて使用するときにデバイス名を確認します。



ヒント：
スキップして、次へ進みます。

ステップ 3：
iOSデバイスのコントロールセンターに移動して「AirPlay/Screen Mirroring」を開始し、リストから「Eshare-****」を選択します。



ステップ4：
接続が成功すると、iOSデバイスのコンテンツがミラーリングされます。

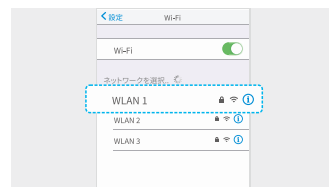
- ヒント：
MacBookの画面ミラーリング機能を有効にするには、以下の手順に従ってください。
- ① Mac画面の上部にある ニューバーのコントロールセンターアイコンをクリックします。
 - ② 「画面のミラーリング」をクリックして、プロジェクターを検索します。
 - ③ Eshare-****に接続します。



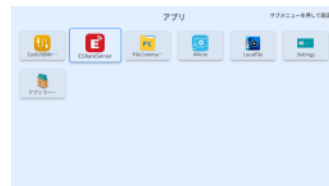
② Eshareアプリケーション

• iOSのミラーリング

ステップ1：
プロジェクターとiOSデバイスを同じWi-Fiに接続します。



ステップ2：
「ホーム」>「アプリ」>「EshareServer」に移動し、「OK」を押します。



ステップ3：
QRコードをスキャンするか、画面に表示されたURLにアクセスして、EshareアプリをiOSデバイスにインストールします。



ヒント：
「Eshare」アプリをインストール済みの場合は手順2と3をスキップして進みます。

ステップ4：
iOSデバイスでEshareアプリを起動し、「Device List」から「Eshare-****」をクリックして接続します。

ステップ5:

「画面を共有する」を選択して、iOSデバイスからコンテンツを投影します。
「TVミラー」を選択してプロジェクターのコンテンツをデバイスにミラーリングすることができます。ミラーリング中はデバイスをリモコンとして使用できます。



ヒント:

「画面を共有する」を選択するとデバイス画面にポップアップウィンドウが表示されます。「画面のブロードキャストを開始」と表示されますが、実際に動画は収録されず、ミラーリングだけを行います。
ミラーリング中にデバイスの通知を表示したくない場合はデバイスの「お休みモード」をオンにしてください。
ミラーリングを停止する場合は「ブロードキャストの停止」を選択します。

• Androidのミラーリング

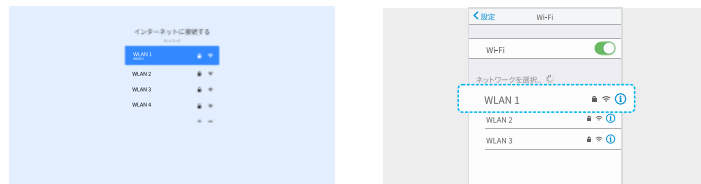
ステップ1:

プロジェクターとAndroidデバイスを同じWi-Fiに接続します。



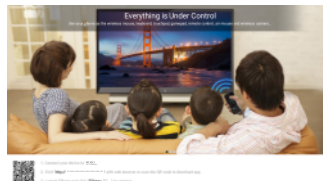
ステップ2:

「ホーム」>「アプリ」>「EshareServer」に移動し、「OK」をクリックしてプログラムに入ります。



ステップ3:

QRコードをスキャンするか、画面に表示されたURLにアクセスして、EshareアプリをAndroidデバイスにインストールします。



ヒント:

「Eshare」アプリをインストール済みの場合は手順2と3をスキップして進みます。

ステップ4:

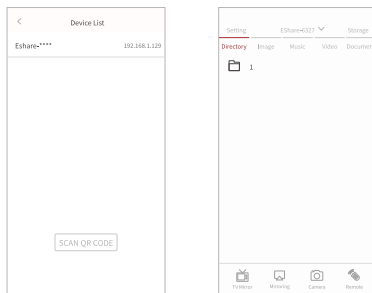
AndroidデバイスでEshareアプリを起動し、「Device List」から「Eshare-****」をタップして接続します。

ヒント:

アプリを続行するには、各種デバイスのアクセス「許可」を選択してください。

ステップ5：

「Mirroring」を選択して、Androidデバイスからコンテンツを投影します。
「TV Mirror」を選択してプロジェクターのコンテンツをデバイスにミラーリングすることができます。ミラーリング中はデバイスをリモコンとして使用できます。



9. アプリ

すべてのアプリをチェック

「ホーム」>「アプリ」からインストール済みのアプリを確認できます。

アプリのインストール

ステップ1:プロジェクターをWi-Fiに接続します。
ステップ2:「ホーム」>「アプリ」>「アプリマーケット」を開きインストールするアプリを選択します。

ヒント：

USBポートからアプリをインストールする場合は、「ホーム」>「設定」>「セキュリティ」に移動して、「不明なソースからアプリをインストールする」オプションを有効にします。不明なソースからアプリケーションをインストールすると、システムの動作に影響を与える可能性があります。

アプリを削除

ステップ1:「ホーム」>「アプリ」を開きリモコンのメニューボタンを押します。
ステップ2:削除したいアプリケーションを選択し、「OK」を押します。
ステップ3:ポップアップウィンドウで「OK」を選択して、削除を完了します。

10. Bluetoothデバイスの接続

プロジェクターにはオーディオ出力ポートはありませんが、Bluetoothオプションがあります。Bluetooth接続を使用して、BluetoothスピーカーまたはBluetoothヘッドフォンをプロジェクターに接続できます。

ステップ1：
「ホーム」>「設定」>「Bluetooth」を押して、Bluetoothを有効にします。
ステップ2：
「検索」から外部Bluetoothデバイスを選択して、画面の指示に従ってペアリングの許可を選択しBluetooth接続を完了します。

リモコンのBluetooth接続

ステップ1：
「ホーム」>「設定」>「Bluetooth」を押して、Bluetoothを有効にします。
ステップ2：
「Bluetoothリモコンの接続」を選択して画面の指示に従ってペアリングします。

マウスカーソルのON/OFF

Bluetooth接続が完了した後にリモコンのマウスカーソルボタンを押すとマウスカーソルが表示されます。
一部のアプリでアイコンが選択できない場合はマウスカーソルをONにして操作してください。

ヒント：

リモコンをBluetooth接続すると赤外線範囲外でも操作できます。
Bluetooth接続をおこなうとマウスカーソルのON/OFFがおこなえます。

11. 設定

「ホーム」>「設定」から各種設定の変更がおこなえます。

ネットワーク

プロジェクターのネットワーク接続設定がおこなえます。
有効なWi-Fiに接続してください。

画面

- * 画面の明るさを調整する。
- * 画像が正しく投影されるように、投影向きの変更をします。
- * 自動垂直キーストーン補正のON/OFFの切り替え
- * 手動キーストーン補正をおこないます。
- * 投影されるコンテンツの画像モードを選択します。カスタムで自身の好みに合わせた微調整ができます。

Bluetooth

- * プロジェクターを他のBluetoothデバイスに接続します。

HDMI

- * クイック投影モードを設定します。このモードが有効になっている場合、プロジェクターにHDMIケーブルが接続されると、すぐにHDMI接続のコンテンツを投影します。
- * 電源起動時の画面をホーム画面とHDMI入力で切り替えます。

サウンド

操作音のON/OFFの切り替えます。

一般

- * プロジェクターの言語を切り替えます。
- * 日付と時刻の自動更新、手動で切り替えます。
- * タイムゾーンの設定を切り替えます。
- * 時計の表示形式を切り替えます。
- * 自動電源OFFの設定が変更できます。
- * 壁紙の変更ができます。
- * スクリーンセーバーの設定が変更できます。

セキュリティ

不明なソースからのアプリケーションのインストールを許可または拒否します。

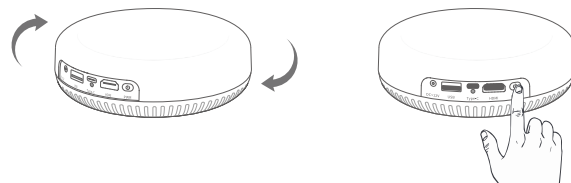
情報

- * プロジェクターの詳細情報を確認してください。
- * 連絡先を確認してください。
- * 新しいシステムが利用可能になったときに、オンラインまたはローカルファイルを介してシステムを更新します。アップグレードの失敗を防ぐため、システムをアップグレードするときは、必ずプロジェクターを電源に接続してください。
- * リセット。

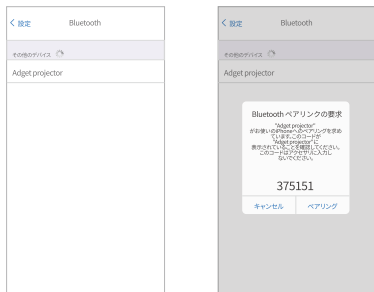
Bluetoothスピーカーモード

Bluetoothスピーカーモードに切り替えるとプロジェクターをスピーカーとして使用することができます。
Bluetoothスピーカーモード中は映像投影はされず、外部デバイスからの音声を再生します。


ステップ 1:
プロジェクターがプロジェクションモードで動作している場合は、蓋を閉じるか、電源ボタンを1回押して、Bluetoothスピーカーモードに切り替えます。



ステップ 2：
 スマホやPCなど各デバイスの「ホーム」>「設定」>「Bluetooth」から
 「Adget projector」を検索して、ポップアップウィンドウで
 「ペアリング」をクリックします。



ヒント：

① インジケータガイド 

インジケータガイド	Bluetoothステータス
青いライト点滅状態	ペアリングの準備ができました/ ペアリング中/Bluetoothが切断されました
青いライト点灯状態	Bluetooth接続済み

- ② このモードでは、プロジェクタの電力が5%以下になると、バッテリー残量が少なくなっていますの音声アナウンスが出ます。
- ③ Bluetoothスピーカーモードを終了するには、蓋を開くか、電源ボタンをもう一度押します。

仕様

アダプター入力	100-240V~, 50/60HZ
アダプター出力	12.0V/4.0A
ポート	DC×1、USB2.0×1、USB Type-C×1、HDMI2.1×1
オペレーティングシステム	Android 9.0
Wi-Fi	2.4G/5G
RAM/ROM	1G/32G
CPU	A53*4
GPU	Mali-G31
ディスプレイ技術	DLP
光源	LED
解像度	854x480
投影距離/画面サイズ	0.53m-5.31m/20-200inch
アスペクト	自動/16:9/4:3
キーストーン	自動(垂直±40°)/手動(垂直&水平±40°)
フォーカス	手動
投影モード	フロント/フロント天井/リア/リア天井
スピーカー	3Wx2
輝度	220 ANSIルーメン
Bluetoothバージョン	BT5.0
重さ	434g
寸法	直径130mm/高さ42mm

Adget Pocket Projectorをお買い上げいただきありがとうございます。
ご不明な点がある場合やサポートが必要な場合は、
info@adget.tokyoまでお問い合わせください。
アップデートにより、実際の操作が本マニュアルとは異なる場合があります。
最新のマニュアルは下のQRコードからご確認ください。

Please refer to the QR code below for
non-Japanese instruction manuals.



<https://adget.tokyo/pages/manuals>